

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		07 03 06	中期総合計画主要施策番号		2-01		担当課	部・課	商工労働部ものづくり振興課	
事業名		食品産業ステージアップ推進事業				内線		2973		
						E-mail		mono@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・県内の主要産業の一つである食品産業の活性化とブランド力の強化を図るために、食品の機能性の探索と技術開発及び企業間連携を支援し、高付加価値商品の創出を支援する。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】								
		・食品産業は主要産業にも関わらず、事業の収益性が低い。								
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】								
		・消費者の機能性食品等の高付加価値商品のニーズに対応できていない。								
	【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】									
	・機能性のある食材を活用した商品を開発する企画力、研究力を高める必要がある。									
	事業内容	・任期付研究員の配置(工業技術総合センター) ・食品産業コーディネーターの配置(委託事業)								
	実施期間	H20 ~ H22		根拠法令等	なし					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況			評価	
	食品加工業への機能性食品の情報提供により、食品産業のステージアップを図る。		・みその熟成に伴う抗酸化活性の変化に関する研究をとりまとめ、成果を公表する。 ・コーディネーターを通じて研究成果の普及を行う。			・みその熟成と抗酸化の関係が研究により明らかになり、本県特産の農産物、加工食品が有する機能性食品としての可能性が認められた。H20.5.2記者発表。 ・県食品工業協会への委託で配置されたコーディネーターにより、県内企業に対する機能性食品の情報提供等が行われた。			a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	-	5,793	3,153	国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円	-	5,419	-	実施方法 直接、委託			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	-	5,419	3,153	歳出節別			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	-	6.00	6.00	内訳等			
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	-	48,313	46,047	・旅費158 ・需用費3,350 ・委託料1,911 (単位: 千円)			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	コーディネータによる電話相談		件	-	189	200				
	コーディネータによる面接		件	-	100	100				
	コーディネータによる企業訪問		件	-	77	80				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・今後の商品化に向けて企業等とのコーディネート事業を平成20年度に開始したところであり、今後も継続的な支援が必要である。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・企業における商品開発、市場ニーズとのマッチング、販路開拓、採算性の確保など、研究成果の普及に至るまでに、想定されるいくつかのハードルがあり、食品産業コーディネーターを通じた相談支援とともに、中小企業振興センターのノウハウの活用、農商工連携基金事業等による助成など、様々な施策を通じて、総合的に県が支援していく必要がある。							